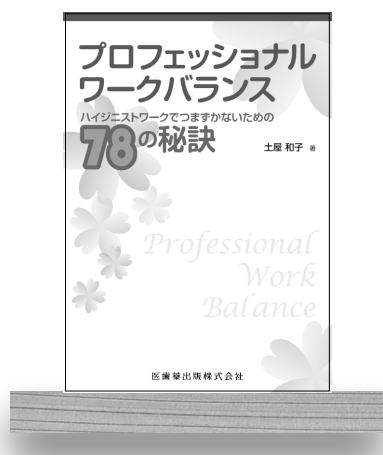


歯科衛生士として、社会人として、
そして女性としての道標に



プロフェッショナル ワークバランス
ハイジニストワークでつまづかないための78の秘訣
土屋和子 著
A5判/172頁 定価：本体3,000円＋税
医歯薬出版（2015年9月）

武田歯科医院
評・池田育代（歯科衛生士）



今回ご紹介させていただくのは、歯科衛生士の土屋和子氏（以下、和子さん）による、“プロフェッショナル”シリーズ第3弾にあたる「プロフェッショナル ワークバランス」です。40年にわたる臨床歴のなかでさまざまな現場に立ち、セミナーの講師や全米NLP公認トレーナーとしてもたくさんの歯科医師や歯科衛生士とかわり、指導されてきた和子さんのご経験が、本書には凝縮されています。副題に「ハイジニストワークでつまづかないための78の秘訣」と示されているとおり、私たちが「歯科衛生士」を続けていくうえでの道標となる一冊です。

私も含め、歯科衛生士の大半が一般歯科へ勤務し、毎日の臨床において患者さんとかかわりながら経験を積み上げていきますが、それぞれの置かれている環境は千差万別だと思います。歯科衛生士学校でのカリキュラムを終え、国家資格を得た歯科衛生士として、かつ社会人とし

て、その両方のスキルを磨くことで精いっぱいな“新人”時代（キャリア1～2年目）、仕事や環境に慣れて、さらなるスキルアップや後輩の育成を目指す“中間管理職”時代（3～4年目）、歯科医師の意見や職場全体の管理も考慮しなくては行けない“責任者”時代（5年目～）と、経験年数とともに置かれる立場が変わるたびに、新たな問題や悩みが生じてきます。また働いていくなかで、結婚や出産、育児、休職や復職に関する不安など、女性ならではの壁もたくさん立ちはだかるかと思います。

そんな壁にぶつかったときにこそ手にとり、開いてもらいたいのが本書です。働いていくうえでの悩みや不安を抱えているのは自分だけではないこと、そのときどきに置かれている立場に沿ったアドバイス、そして問題解決の糸口などが随所に盛り込まれており、読みながら思わずうなずいてしまう部分もあるのではないかと思います。

思い返せば、私自身が和子さんからアドバイスをいただいたときも、立場が変わる節目だったように思います。そうして苦難を乗り越えてきた現在感じていることは、歯科衛生士というのは長く続けるほどに魅力を増す職業だということです。今後さらに自身の仕事を楽しんでいくための道標として、私が本書でもっとも気に入っているのは「“プロフェッショナル”とは何か」が書かれている項目です（p.117）。皆さんのお気に入りページはどこでしょうか？ まだ本書を開いていない方も、ぜひ一度“和子さんワールド”を覗いてみてください。いまは向こう側が見えない大きな壁が立ちはだかっていても、気がつけば先が見とおせる階段が現れ、一段ずつ上がっていける……本書はそんなあなたの未来を切り開く一冊になると思います。